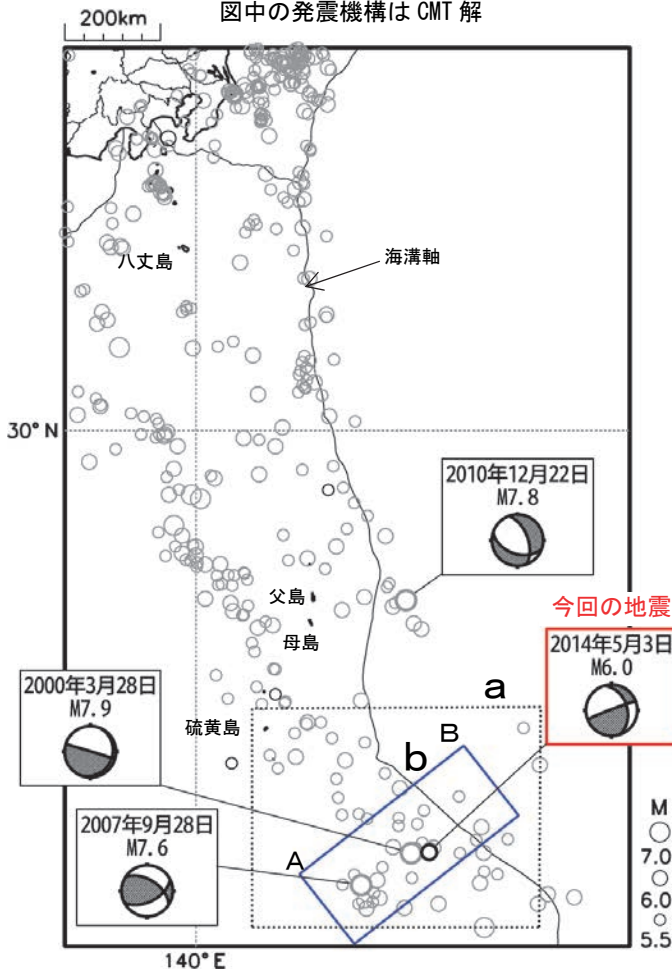


5 月 3 日 硫黄島近海の地震

震央分布図

(1988 年 1 月 1 日～2014 年 5 月 31 日、
深さ 0～700km、 $M \geq 5.5$)
2014 年 5 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解

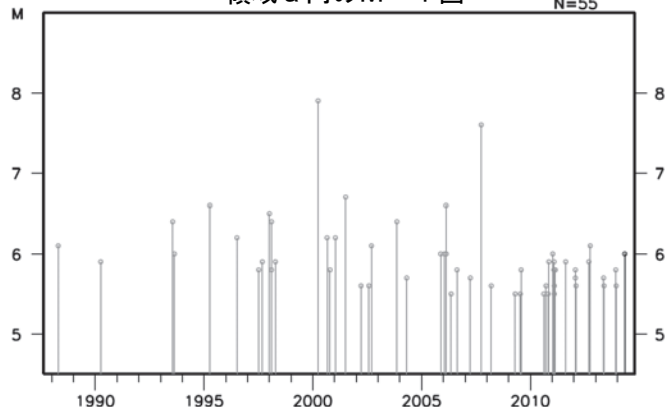


2014 年 5 月 3 日 19 時 57 分に硫黄島近海の深さ 107km で $M6.0$ の地震（最大震度 2）が発生した。この地震は発震機構が太平洋プレートの傾斜方向に張力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。

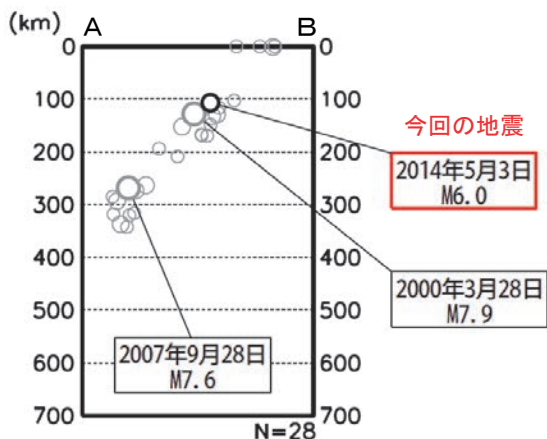
1988 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、 $M7.0$ を超える地震が 2000 年 3 月 28 日 ($M7.9$ 、最大震度 3) と 2007 年 9 月 28 日 ($M7.6$ 、最大震度 2) に発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、 $M7.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域 a 内の M-T 図

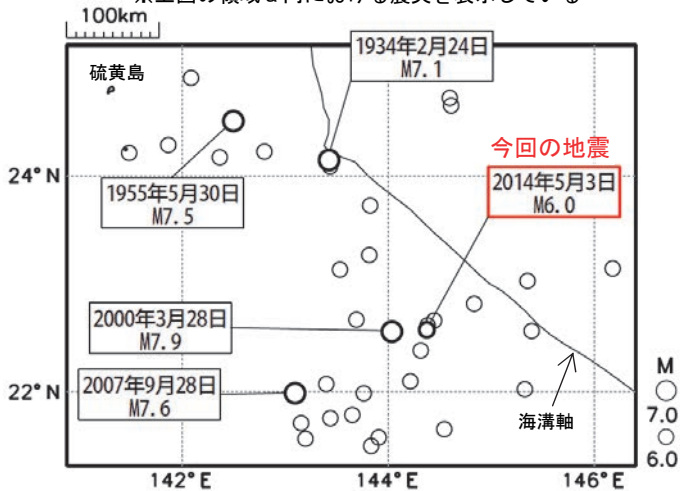


領域 b 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図*

(1923 年 1 月 1 日～2014 年 5 月 31 日、
深さ 0～700km、 $M \geq 6.0$)
※上図の領域 a 内における震央を表示している



左図の領域内の M-T 図

